
2015年3月期 第2四半期連結決算説明会

大陽日酸株式会社
2014年11月5日

目 次

1. 2015年3月期 第2四半期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2015年3月期 通期連結業績予想

目次

1. 2015年3月期 第2四半期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2015年3月期 通期連結業績予想

2015年3月期 第2四半期連結業績

単位：億円

	前年同期 利益率	当期上期 (公表値) 利益率	当期上期 (実績) 利益率	前期比 増減率
売上高	2,496	2,710	2,689	+192 +7.7%
営業利益	143 5.8%	168 6.2%	164 6.1%	+20 +14.2%
経常利益	141 5.7%	158 5.8%	165 6.2%	+23 +16.7%
当期純利益	122 4.9%	98 3.6%	99 3.7%	△23 △19.0%

2015年3月期 第2四半期その他決算数値

単位：億円	14年3月	14年9月	増減
総資産	7,316	7,021	△ 295
自己資本	2,743	2,781	+38
純有利子負債	2,197	2,131	△ 66
ネットDE/レシオ	0.80	0.77	△ 0.03
	13年9月	14年9月	増減
設備投資	136	148	+12
投融資	7	18	+11
減価償却費	183	202	+19
(うち、のれん償却費)	16	24	+7
研究開発費	12	14	+1
FCF (投資活動)	149	106	△ 42

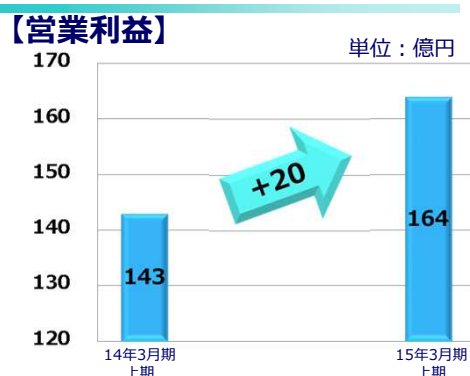
- ・ 総資産は現預金大幅圧縮などにより減少
- ・ のれん償却費はパシフィックメディコ社、コンチネンタルカーボニックプロダクツ社の買収により増加
- ・ FCFは前年同期の固定資産売却益等がなくなり減少

前年同期比 増減分析 (1)



- ・ 増収 +192億円
国内ガス事業 +47億円、米国ガス事業 +93億円、アジアガス事業 +44億円、その他事業 +8億円

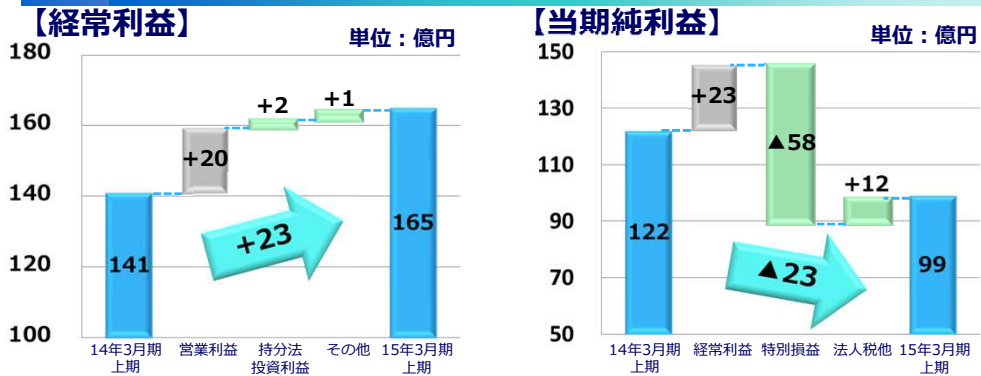
※うち為替影響+57億円
(米国 41億円、アジア 16億円)



- ・ 増益 +20億円
国内ガス事業 +9億円、米国ガス事業 +5億円、アジアガス事業 +4億円、その他事業 +3億円、連結消去 △2億円

※うち為替影響 +3億円
(米国 1億円、アジア 1億円)

前年同期比 増減分析（2）



・サーモス関連会社の持分法による投資利益の増加

・前期に固定資産売却等による特別利益が発生
・法人税の減少

目次

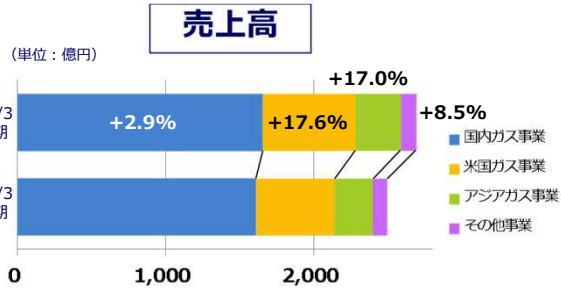
1. 2015年3月期 第2四半期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2015年3月期 通期連結業績予想

セグメント情報 売上高・営業利益内訳

売上高

単位：億円

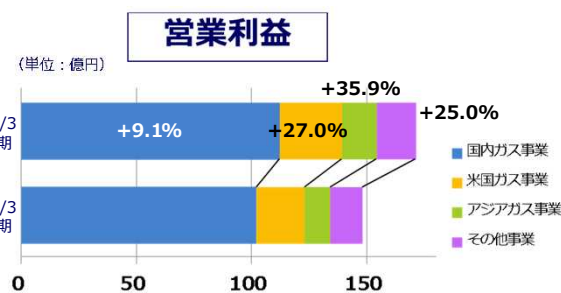
	14年3月期	15年3月期	増減率
	上期	上期	
国内ガス事業	1,608	1,655	+2.9%
米国ガス事業	532	626	+17.6%
アジアガス事業	259	303	+17.0%
その他事業	95	103	+8.5%
セグメント計	2,496	2,689	+7.7%



営業利益

単位：億円

	14年3月期	15年3月期	増減率
	上期	上期	
国内ガス事業	102	112	+9.1%
米国ガス事業	21	27	+27.0%
アジアガス事業	11	15	+35.9%
その他事業	14	17	+25.0%
調整額	△ 6	△ 8	△ 41.2%
セグメント計	143	164	+14.2%



国内ガス事業

売上高

単位：億円

		14年3月期	15年3月期	増減率
		上期	上期	
産業ガス	バルク・オンサイト	652	676	+3.7%
	パッケージ・ハード グッズ	147	159	+8.1%
	機器・プラント	165	167	+0.8%
	メディカル	89	108	+22.2%
	計	1,054	1,111	+5.4%
エレクトロ ニクス	ガス	254	257	+1.4%
	機器・工事	114	92	△ 18.6%
	計	368	350	△ 4.8%
エネルギー	ガス	169	178	+5.5%
	関連機器	16	14	△ 8.6%
	計	185	193	+4.3%
セグメント計		1,608	1,655	+2.9%

「売上高」

- ◆産業ガス
 - ・鉄鋼向けオンサイト堅調
 - ・溶接関連機材好調
 - ・プラント需要低調
 - ・メディカルは新規連結効果および安定同位体事業好調

- ◆エレクトロニクス
 - ・電子材料ガス好調
 - ・機器工事およびMOCVD装置に前期大型案件あり

- ◆エネルギー
 - ・輸入価格上昇を販売価格に転嫁

「営業利益」

電力コストが計画以上に上昇するも、合理化効果および電子材料ガス等の売上増に伴い増益に

営業利益

単位：億円

	14年3月期	15年3月期	増減率
	上期	上期	
セグメント計	102	112	+9.1%



米国ガス事業

売上高

単位：億円

		14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
産業ガス	バルク・オンサイト	128	197	+54.2%
	パッケージ・ハード グッズ	377	402	+6.5%
	機器・プラント			
	メディカル			
	計	506	600	+18.6%
エレクトロ ニクス	ガス	20	19	△ 3.1%
	機器・工事	6	6	+0.8%
	計	26	26	△ 2.1%
エネルギー	ガス			
	関連機器			
	計			
セグメント 計		532	626	+17.6%

「売上高」

- ・ 為替換算によるプラス影響
(前期：95.73 円/\$ → 当期：102.46円/\$)
- ・ 新規連結した炭酸ガス製造販売会社
コンチネンタルカーボニックプロダクツ社の寄与

「営業利益」

- ・ 為替換算影響に加え、コンチネンタルカーボ
ニックプロダクツ社のはれん償却額を上回る
営業利益を計上
- ・ ヘリウムを含むガスの値上げ実施

営業利益

単位：億円

		14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
セグメント 計		21	27	+27.0%

アジアガス事業

売上高

単位：億円

		14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
産業ガス	バルク・オンサイト	71	78	+9.4%
	パッケージ・ハード グッズ	55	62	+13.9%
	機器・プラント	42	41	△ 1.9%
	メディカル			
	計	169	182	+8.0%
エレクトロ ニクス	ガス	85	112	+32.6%
	機器・工事	4	7	+54.5%
	計	90	120	+33.8%
エネルギー	ガス			
	関連機器			
	計			
セグメント 計		259	303	+17.0%

「売上高」

- ・ 為替換算によるプラス影響
- ・ 台湾、中国、韓国を中心とするエレクトロニ
クス事業好調
- ・ シンガポールのLeeden社が、買収効果に加え、
既存事業も好調

「営業利益」

- ・ 上記要因の中でもエレクトロニクス事業好調
による増益効果大

営業利益

単位：億円

		14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
セグメント 計		11	15	+35.9%

その他事業

売上高

単位：億円

		14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
サーモス	国内	74	77	+3.7%
	アジア	8	13	+58.2%
	計	82	90	+9.3%
その他	国内	12	12	+3.1%
	計	12	12	+3.1%
セグメント計		95	103	+8.5%

《売上高》

- ◆サーモス事業
 - ・国内では、消費増税による影響もなく、新製品を中心に売上げ好調
 - ・海外では、韓国を中心に売上げ好調

営業利益

単位：億円

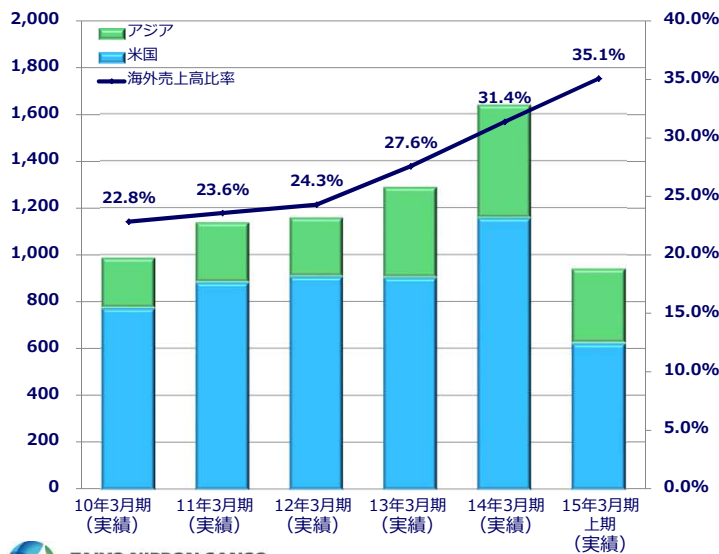
		14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
セグメント計		14	17	+25.0%

《営業利益》

- ◆サーモス事業
 - ・円安によるコスト上昇分を、昨年8月実施の値上げにより販売価格に転嫁

海外売上高比率

単位：億円



《海外展開への取り組み》

2014年2月 米国
ドライアイス業界で全米第2位の炭酸ガスメーカー Continental Carbonic Products, Inc.を買収

2014年2月 インドネシア
ジャワ島にて産業ガス合併事業会社 PT. Samator Taiyo Nippon Sanso Indonesia を設立

2012年3月 シンガポール
溶接関連器具、安全具、高圧ガスの製造ならびに仕入販売業者 Leeden Limited を買収

2010年5月 米国
米国最大のアセチレン製造・卸売業者 Western International Gas & Cylinders Inc. を買収

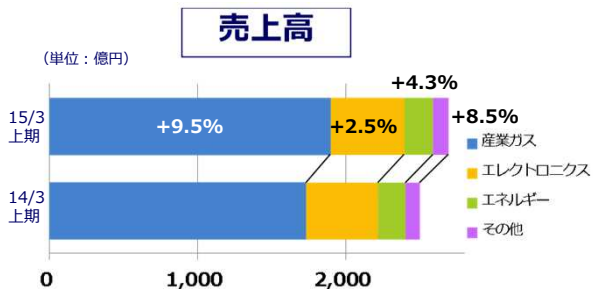
2010年3月 インド
産業ガス製造・販売会社 K-Air India Gases Private Limited を買収

事業別セグメント 売上高・営業利益内訳

売上高

単位：億円

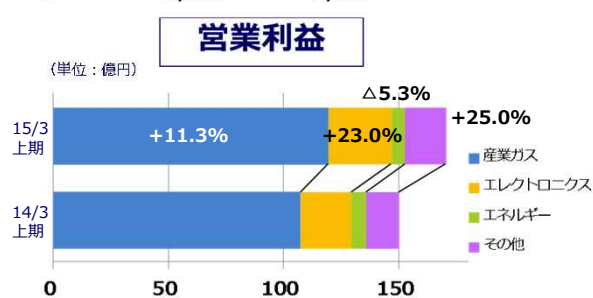
	14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
産業ガス	1,729	1,894	+9.5%
エレクトロニクス	485	497	+2.5%
エネルギー	185	193	+4.3%
その他	95	103	+8.5%
セグメント計	2,496	2,689	+7.7%



営業利益

単位：億円

	14年3月期 上期	15年3月期 上期	増減率
産業ガス	107	119	+11.3%
エレクトロニクス	22	27	+23.0%
エネルギー	6	5	△ 5.3%
その他	14	17	+25.0%
調整額	△ 5	△ 5	+0.4%
セグメント計	143	164	+14.2%



目次

1. 2015年3月期 第2四半期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2015年3月期 通期連結業績予想



トピックス

国内

- ◆水素ステーション事業
- ◆国内LPガス事業再編

海外

- ◆MOCVD装置の拡販
- ◆アジア事業拡大
- ◆サーモス事業拡大

水素ステーション事業

水素ステーションの拡販に向けて

2013年8月に、燃料電池自動車(FCV)に水素ガスを供給するための低コスト・コンパクトなパッケージ型水素ステーション『Hydro Shuttle[®]』を開発。

『Hydro Shuttle[®]』の優位性

- ・従来の水素ステーションの1/2の低コスト化を実現
- ・パッケージ化による現地での設置工事費削減
- ・必要設置面積の縮小

パッケージ型および移動式をターゲットに販売を強化

商用ステーション設置計画

	オフサイト	オンサイト	パッケージ	移動式	その他	合計
2013年度	17件	1件				18件
2014年度	2件	2件	7件	12件	1件	24件
2015年度						

2015年までに計100カ所設置の計画



国内LPガス事業再編

LPガス事業子会社5社の合併

社名：大陽日酸エネルギー株式会社

合併期日：2015年4月1日

株主構成：大陽日酸 100%

本社：愛知県海部郡蟹江町

大陽日酸エネルギー関東(株)
大陽日酸エネルギー中部(株)
大陽日酸エネルギー中国(株)
大陽日酸エネルギー九州(株)
サンガス四国(株)

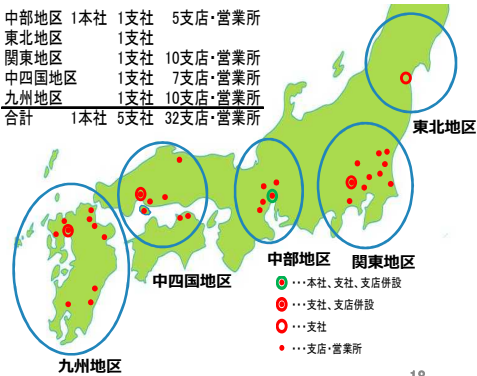
新会社
大陽日酸エネルギー(株)

合併の目的：

- ・経営基盤の強化
- ・事業規模の拡大
- ・管理部門の効率化



中部地区	1本社	1支社	5支店・営業所
東北地区		1支社	
関東地区	1支社		10支店・営業所
中四国地区	1支社		7支店・営業所
九州地区	1支社		10支店・営業所
合計	1本社	5支社	32支店・営業所



MOCVD装置の拡販

当社のMOCVD装置事業戦略

国内向けの高シェアを維持しつつ、**米国、台湾**を中心とした最先端需要を取り込み、グローバル展開を加速していく。

米国政府研究機関 サンディア国立研究所に納入決定

【サンディア国立研究所】

概要：米国エネルギー省国家核安全保障局が管轄する国立研究所

研究内容：国家安全保障、エネルギー、環境技術や経済競争力に関する研究開発

当社納入装置の用途：アルミニウムガリウムナイトライド (AlGaN)、アルミニウムナイトライド (AlN) 等化合物半導体の研究開発

台湾LEDメーカー Epistar社に納入

【Epistar Corporation】

会社概要：世界最大のLEDメーカー

信号機、携帯電話、ラップトップコンピュータ向け等、

高輝度LED製品を製造

当社納入装置：『UR25K』 6インチのサファイア基板を7枚同時処理が可能



アジア事業拡大

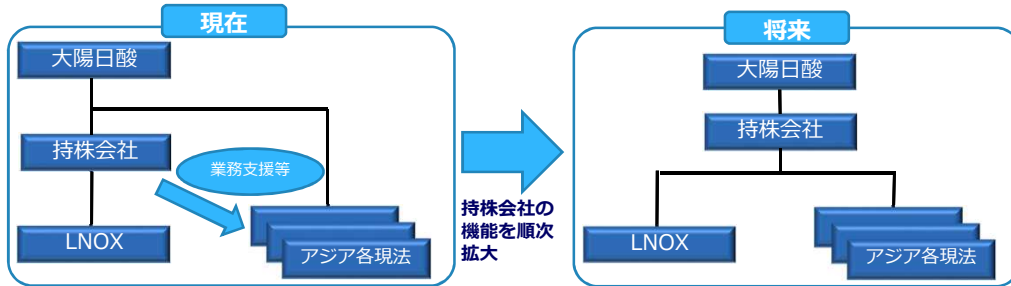
1. シンガポールに持株会社を設立

社名：Taiyo Nippon Sanso Holdings Singapore Pte. Ltd.

設立：2014年7月30日

株主構成：大陽日酸 100%

目的：将来的に東南アジア地域統括会社としての機能を拡大し、事業の成長加速を図る



※ LNOX = Leeden National Oxygen Ltd.



アジア事業拡大

2. シンガポール子会社の合併

2014年10月にシンガポールの連結子会社3社を合併、Leeden National Oxygen Ltd.を設立。

会社概要

社名：Leeden National Oxygen Ltd.
 売上構成：ガス事業 42% 溶接関連事業 36%
 セーフティグッズ 22%

事業計画

ガス事業：

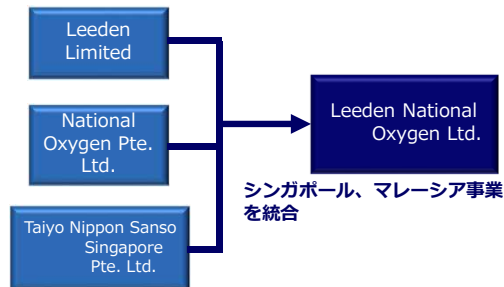
- ・バイオ、エネルギー等の有望分野への取組強化
- ・マレーシア市場におけるビジネス拡大
- ・高付加価値商材の拡販

溶接関連事業：

- ・M&A、J V、新拠点開設による更なる市場開拓
- ・自社ブランド商品の拡充

その他：

- ・コスト削減による収益の底上げ



アジア事業拡大

3. シンガポールに液化炭酸ガス製造設備を新設

LNOXは、マレーシア国内で炭酸ガスの製造事業を行っている。今般、シンガポール西部に立地するNeste Oil Singapore社構内に炭酸ガス製造設備を新設。原料ガスは同社から調達し、同国での液化炭酸ガス製造事業を開始する。

目的：シンガポール、マレーシアでは自動車・造船など溶接用途の炭酸ガス需要が堅調であり、新プラントを建設することで自社の安定ソースを確保する

設置場所	稼働開始
シンガポール チュアス地区	2015年9月

	生産能力
既設分	45t/日
新設分	72t/日
合計	117t/日

新プラントから、シンガポールおよびマレーシアのバタム島、ピンタン島向けに炭酸ガスを供給



アジア事業拡大

4. マレーシアに空気分離装置新設

案件概要：LNOXの子会社Sabah Oxygenがサバ州コタキナバルに当社製の空気分離装置を新設
2015年6月に稼働開始予定

事業計画：既存エリアにおける造船、病院向け供給を強化
東マレーシアで伸長する石油・ガス開発、化学プラント向けの需要取込

5. マレーシアにおける事業エリア拡大

案件概要：サバ州に続いて、M&Aによりサラワク州にも、年内に拠点獲得の予定
東マレーシア全域におけるガスビジネスの展開を図る

6. インドネシア初のオンサイト事業

案件概要：PT. Samator Taiyo Nippon Sanso Indonesia が、インドネシアジャワ島にて日系鉄鋼メーカー向け窒素ガスオンサイト供給の為に、同国で当社初となる空気分離装置を建設する

設置場所	稼働開始予定
ジャワ島ブカシ県	2017年1月



サーモス事業拡大

フィリピンにステンレス製魔法びん生産子会社を設立

社名：Vacuumtech Philippines Inc.
 設立：2014年7月
 生産開始予定：2015年12月
 生産能力：1,000万本/年
 投資金額：約39億円

【新工場完成予定図】



工場名	立地	生産品目
Thermos (China) Housewares	中国江蘇省 昆山市	幅広い商品
Thermos (Jiangsu) Housewares	中国江蘇省 淮安市	中国、欧米向け商品
Top Thermo Mfg.(Malaysia)	マレーシア セランゴール州	超軽量コンパクト品
フィリピン新会社	フィリピン バタンガス州	超軽量コンパクト品

THERMOS[®]
 QUALITY SINCE 1904

目次

1. 2015年3月期 第2四半期連結業績
2. セグメント報告
3. トピックス
4. 2015年3月期 通期連結業績予想

2015年3月期 通期連結業績予想

単位：億円

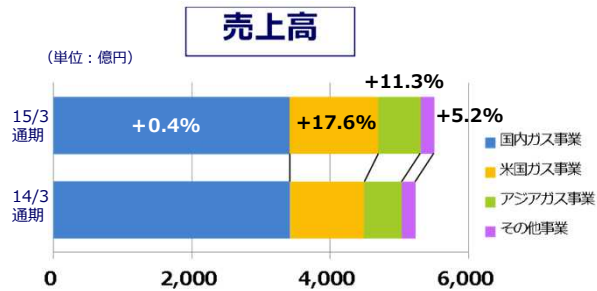
	前期実績	当期見込 (前回予想)	当期見込 (今回予想)	前期比
	利益率	利益率	利益率	増減率
売上高	5,227	5,500	5,500	+272 +5.2%
営業利益	314 6.0%	350 6.4%	350 6.4%	+35 +11.1%
経常利益	305 5.8%	332 6.0%	332 6.0%	+26 +8.7%
当期純利益	201 3.9%	200 3.6%	200 3.6%	△1 △1.0%

2015年3月期 通期 セグメント業績予想

売上高

単位：億円

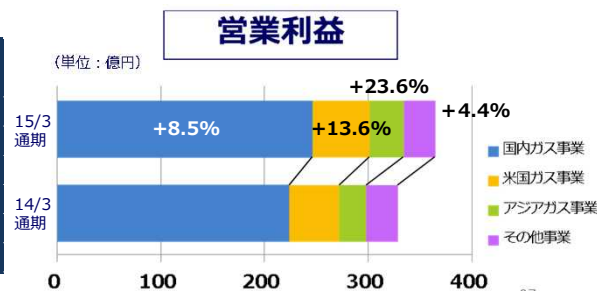
	14年3月期 通期	15年3月期 通期	増減率
	国内ガス事業	3,418	3,431
米国ガス事業	1,075	1,264	+17.6%
アジアガス事業	543	605	+11.3%
その他事業	190	200	+5.2%
セグメント計	5,227	5,500	+5.2%



営業利益

単位：億円

	14年3月期 通期	15年3月期 通期	増減率
	国内ガス事業	224	244
米国ガス事業	48	55	+13.6%
アジアガス事業	26	33	+23.6%
その他事業	30	32	+4.4%
調整額	△15	△14	+10.8%
セグメント計	314	350	+11.1%



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限りません。）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。

